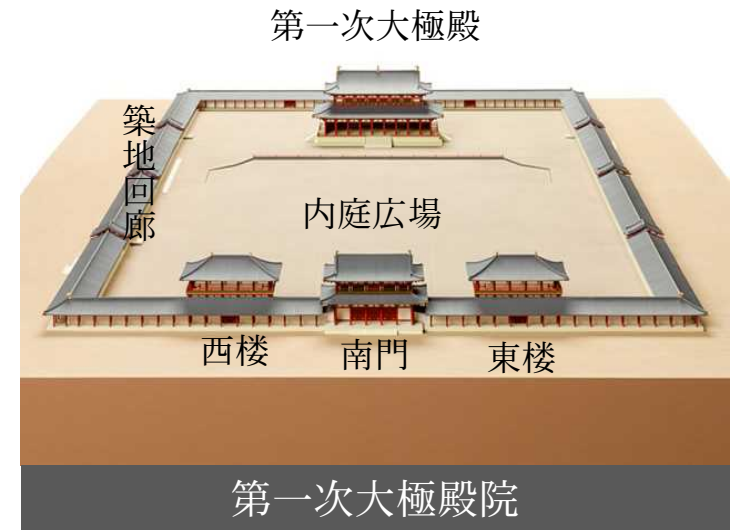


平城宮跡歴史公園 第一次大極殿院 南門復原整備工事

特別史跡であり世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つでもある平城宮跡については、その一層の保存と活用を図るため平成20年度から国営公園として事業を進めています。

第一次大極殿院は、奈良時代前半、国家で最も重要な儀式が行われていた空間です。その中心にある「**第一次大極殿**（平成22年復原）」は、即位や元日朝賀といった国家儀式や外国使節の謁見えつけんの際に、天皇が出御する建物です。

「第一次大極殿院建造物復原整備計画（平成23年）」により「**南門**」「東楼」「西楼」「築地回廊」「内庭広場」についても順次整備していくことが決定し、「**南門**」は令和4年3月に完成しました。



南門

南門は、第一次大極殿院の正面入口となる建造物です。発掘調査や時代考証の結果、間口約22.1m、奥行約8.8m、高さ約20.0mの入母屋造の二重門いりもに復原されることが決まりました。

南門復原工事においては、伝統的な材料・工法を用いる基本方針を踏まえ、木材加工や瓦葺き、金物、左官、塗装等に伝統的な工法を採用しています。

南門復原整備工事 木工事における伝統的な工法

南門復原には、主に紀伊半島の檜ひのきが使用され（一部に欂けやきも使用されている）、柱のような大径木には樹齢200年程度の木材もあります。木材保管庫に搬入された木材は、自然乾燥と粗取りを繰り返したのち、仕上げ加工を行います。木材の仕上げには伝統的な工法を用いることを基本としています。

八角形で搬入された柱は、古代の道具である「手斧（ちょうな）」を用いて角を落とし、十六面、三二面、六四面に加工します。

手斧斫りのあとの表面の仕上げには「槍鉋（やりがんな）」を用いています。槍鉋は、使い方によって凹凸のある仕上げを施すことができます。



手斧（ちょうな）



槍鉋（やりがんな）



手斧加工中



槍鉋による加工の様子



槍鉋加工後



手斧による加工の様子

木工事に携わる職人の方の紹介①

※プロフィールは2019年度取材当時のもの

北嶋 聡さん

経験年数 24年

藤田社寺建設（株）



- 南門復原整備工事での主な仕事 : 全体調整、原寸図※1作成、型板※2作成
- この仕事をしていてよかったと感じる瞬間 : 思い通りにはまったとき。木のねじれなどを見ながら、加工も微妙に調整しています。木の性質を把握し、建物にどう活かすかを考えて作っています。
- 過去の仕事で思い出のあるもの : 29歳の時に五重塔（兵庫県有馬温泉近くの無量寿寺）に関わったのは恵まれていたと感じます。
- 休日の過ごし方 : 散歩。3時間くらい歩くこともあります。
- 若者へのメッセージ : 仕事はやってみると楽しいと思います。少ないチャンスを活かせるよう、指導・指示を待つのではなく自分から動いていくこと、話を素直に聞くことが大事です。

平川 善久さん

経験年数 23年

平川工務店

- 南門復原整備工事での主な仕事 : 施工図、原寸図作成
- この仕事をしていてよかったと感じる瞬間 : 納まりがピタッとあったとき。
- 過去の仕事で思い出のあるもの : 最初の仕事が東院庭園だったので非常に印象に残っています。そのときは原寸を担当しました。また、正倉院は一生に一度の仕事だったと思います。
- 休日の過ごし方 : こどもと遊ぶのがリフレッシュです。
- 若者へのメッセージ : 与えられた仕事はひたすら真面目に取り組むことです。一生懸命やっていたら、先輩が教えてくれます。自分でやらないと身に付いていきません。



※1 木材の納まりを原寸大で描いた図面

※2 木材を切り出すための型となる板。

木工事に携わる職人の方の紹介②

※プロフィールは2019年度取材当時のもの

上田 晋平さん

経験年数 1年

平川工務店



- 南門復原整備工事での主な仕事 : 粗取り※3から寸法調整までの加工
- この仕事についたきっかけ : 就職活動をしていた時、後世に残る仕事がしたいと思い、文系の大学卒業後に専門学校へ入り直しました。専門学校での古い建築の実測を通じて興味を持ちました。
- この仕事をしていてよかったと感じる瞬間 : 東大寺の庫裏の修理の際、柿渋で古い部分と似た色を出せた時は嬉しかったです。
- 休日の過ごし方 : お寺を見に行ったり、図書館で建築関係など色々な本を読んだりしています。
- 若者へのメッセージ : まずは学問を追究することです。やりたいことを持ち、周囲に発信していったら誰かが聞いてくれると思います。

※3 木材の大まかな加工

木工事 取材Photo



▲墨付け作業
木材を切り出すための印しを書き込んだものです。部材同士がかみ合うように細かく計算されています。

▲墨付けに用いる道具より細かい線を表現するため、竹の墨差しではなくボールペンを使用しています。

▲指矩(さしがね)
墨付け時の寸法計測の基本道具です。使い方によって、勾配部分の切り出しを表すこともできるようになっています。

▲槍鉋作業
復原工事が進んでいる素屋根内に加工場を設け、木材の表面の仕上げ加工を施しています。

▲仕口加工
部材を接合するための加工を施しています。「ぬ壺」の表記は、番付けと呼ばれ、設置する柱の位置を示しています。

▲肘木(ひじき)
肘木とは、斗を支えるための水平材です。釘を用いず、ダボを使用して接合しています。

木工事に携わる職人の方の紹介③一覧※

企業名	氏名
平川工務店	平川 善久(ひらかわ よしひさ)
平川工務店	矢谷 勇樹(やたに ゆうき)
平川工務店	吉村 剛一(よしむら ただかず)
平川工務店	御幣 黄太(ごへい こうた)
平川工務店	栗田 忠芳(くりた ただよし)
平川工務店	西川 昇(にしかわ のぼる)
平川工務店	横山 佳亮(よこやま けいすけ)
平川工務店	練木 良則(ねりき よしのり)
平川工務店	小松 輝希(こまつ てるき)
平川工務店	上田 晋平(うえだ しんぺい)

企業名	氏名
藤田社寺建設(株)	北嶋 聡(きたじま さとる)
藤田社寺建設(株)	向山 敬吾(むこやま けいご)
藤田社寺建設(株)	首藤 雅史(しゅとう まさふみ)
藤田社寺建設(株)	今和泉 洋幸(いまいずみ ひろゆき)
藤田社寺建設(株)	石田 浩昭(いしだ ひろあき)
藤田社寺建設(株)	内藤 弘幸(ないとう ひろゆき)
藤田社寺建設(株)	吉田 興市(よしだ よいち)
藤田社寺建設(株)	大谷 遵(おおたに じゅん)
藤田社寺建設(株)	西野 裕之(にし の ひろゆき)
藤田社寺建設(株)	松本 将吾(まつもと しょうご)
藤田社寺建設(株)	向川 那奈(むこうがわ なな)
大久保工務店	大久保 貴己(おおくぼ たかみ)
大久保工務店	大林 颯馬(おおばやし そうま)

※個人名の掲載を承諾いただいた方のみ掲載しています。